Ⅰ．令和５年度（2023 年）　執行方針

４本部の新体制として２年目を迎えることができました。今まで取り組めなかった新しい分野へのアプローチができた１年となりました。しかしながら当連盟を取り巻く社会環境は依然厳しい状況です。SAJ 会員及び有資格者の減少、事業参加者の減少等、回復にはまだ時間を要するようです。

令和５年度は、引き続き会員ファーストに回帰した事業を計画していきます。クラブや協会、単独では行えなかったイベントをスキー場と連携を取りながら開催していきます。また過去実施してきたインバウンド対応の事業も復活させ、新たな仲間を迎え入れる土俵作りを行っていきます。

ＣＳＲとして障がいを持つ方々へのウィンタースポーツ支援活動、青少年の育成、シニア層 への支援等々を継続します。

このような事業展開を継続して行えるよう、中長期的な視点を取り入れ、次世代への足掛かりになるよう関係団体との信頼関係を築きあげていくための中長期的な事業計画・目標策定は必須です。引き続きスノースポーツを通じ県民の心身の健全な発達に寄与することを達成できるよう中期計画を策定します。

１．ジュニア事業の活性化

当連盟を担う次世代の選手たちが、世界で活躍できるような育成プログラムを計画し、競技力向上につながる大会の支援・開催を継続します。その中で選手の育成・強化を図り、全国大会の上位入賞を目指します。

２．SAK 会員の活性化

クラブ、協会及び県指導員会と連携し、幅広い年代でスノースポーツを満喫できるよう、指導者の育成を行い、だれでも楽しめる事業を推進します。
グリーンシーズンへの情報発信を行い、年間を通じた活動ができるよう支援します。

３．マーケティング活動の推進

企画・マーケティング本部の下、当連盟の活動に理解頂ける協賛企業、スポンサーへの情報発信を継続し、相互理解を深め、あらたな事業を展開します。
過去実施してきたインバウンド対応のノウハウを活かし、SAK 会員とともに日本のスノースポーツを堪能できる事業を開催します。

４．ハンディキャップ事業を通じたボランティア活動を継続します。

スポーツ振興センターからの支援を受けたスキー教室を通じ、参加者を受け入れ、SAK 会員によるボランティア活動を継続します。

５．他団体との連携強化

上部団体（SAJ、県スポーツ協会）及びスポーツ振興基金からのガバナンスコード遵守を SAK 会員へ浸透させるため、協会、クラブへの展開を行います。
南関ブロック協議会（(一財)東京都スキー連盟、千葉県スキー連盟）と、連携を深めた事業運営を継続します。

６．人材育成への取組

連盟を担う、次世代指導者の発掘、育成に継続します。

以上